

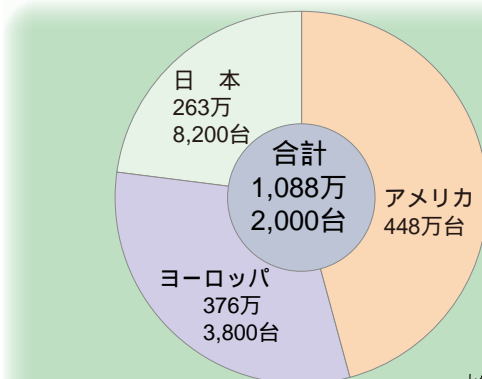
アメリカやヨーロッパでも 自販機は利用されているんだ。

アメリカの最新データ(2013年)とヨーロッパの最新データ(2005年)によると、飲料と食品の自販機が置かれている台数は、1位がアメリカで約448万台、2位がヨーロッパで約380万台、日本は約264万台で3位でした。でも、海外から訪れる人が日本に来てまず驚くのが、自販機が屋外に置かれていることです。自販機先進国と言われるアメリカやヨーロッパでは、自販機が屋外に置かれているようすはあまり見かけません。それは治安上の問題から、ほとんどがオフィスや工場の中に置かれているためです。日本での屋外自販機の普及は、治安のよさを海外に誇れる一例なのです。

いっぽう日本の最新データによれば、日本国内の自販機で販売された商品の売上金額の合計は、4兆9,526億5,520万円でした。これは普及台数が世界一のアメリカの売上金額より多い数値です。それだけ日本では、自販機でものを買うことが普通になっていて、暮らしになくてはならないものだということがわかります。

また、アメリカやヨーロッパでは、日本に比べて食品自販機の比率が高いのも特徴です。

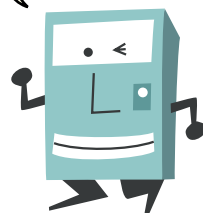
日本とアメリカ、ヨーロッパの飲料・食品自販機の普及台数比較



(日本:2014年、米国:2013年、ヨーロッパ2005年のデータ)

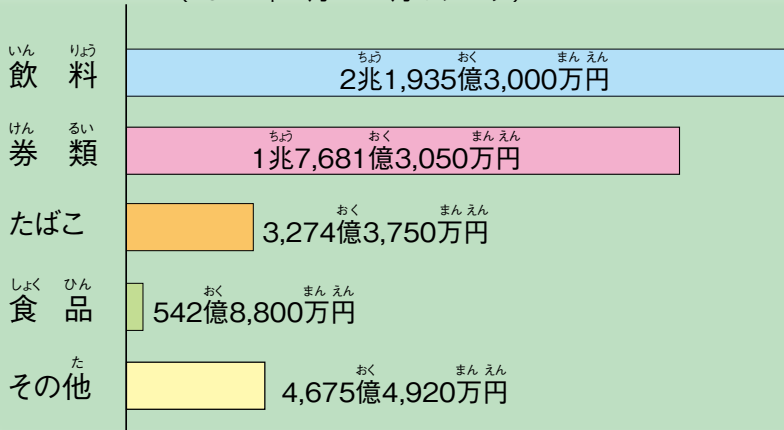
アメリカのデータは、Vending Times 社調べ
ヨーロッパのデータは、欧州自動販売協会調べ

飲料自販機と食品自販機のみ比較だよ



日本の自販機で販売された商品の売上金額

(2014年1月~12月のデータ)



自販機の普及台数など詳しい資料は、日本自動販売機工業会のホームページをご覧ください。 <http://www.jvma.or.jp>

世界の自販機の普及状況

自販機は、世界中でその便利さが認められて普及が進んでいます。たとえば、ロシア、ポーランドといった中東欧諸国やトルコなどのほか、アジアでは、自販機の歴史が古い韓国や台湾のほか、シンガポール、マレーシア、タイなどでも普及が始まっています。さらに経済発展の目覚ましい中国では、路上、地下鉄のホーム、公園などを中心に、急速に普及が進んでいます。



上海の地下鉄構内の飲料自販機。



ヨーロッパの携帯電話自販機。